

第74回北海道高文連石狩支部演劇発表大会
北海道新篠津高等養護学校演劇部

わが星

私たちの毎日
私たちのイマ、ココ
なにげない
くだらない
かけがえのない
あたりまえの
イマ、ココ

翻案「わが星」(作 柴 幸男)
作 山田 勇気
音楽 久井 あや

2024年10月14日(月) スポーツの日 13:30～

札幌市教育文化会館小ホール

チケット500円(通し券)



わたし、進まなきゃダメかな？

ソラは新篠津高等養護学校に通う18歳。気の置けない友人たちと過ごす寄宿舍や学校の生活に不満はない。にぎやかに過ぎていく何気ない毎日だったが、進路決定に向けた実習を前に、ふと浮かんだひとつの疑問…。

「イマココで、みんなと話してることも忘れちゃうのかな」

進路に向けて頑張ってきたが、それがより現実近づいたイマ、気づけば不安に変わっていた。

「一緒に石炭になりましょう！」

後輩の一言に、気持ちを前に進めるソラだった。

わたし達も何億年たったら、エネルギーになるのかな？

大人になることを迫られたティーンエイジャーが抱える心のざわめきは、見る者の共感を呼ぶ。ただ、物語はそこで終わらない。地球が育む壮大な生命のうねりの中に身を置いた主人公の素直さに、私たちは力をもらうのである。

創部以来、宮沢賢治の作品と共に歩んだ新篠津高等養護学校演劇部が、初めて宮沢文学と離れて挑戦した意欲作。演じる生徒の思いが詰まった台詞が光る。



チケット・お問い合わせ

北海道新篠津高等養護学校演劇部
石狩郡新篠津村第45線北13番地
TEL 0126-58-3280
FAX 0126-58-3281

顧問 山田勇氣

コロナ禍、第45回岸田國土賞を受賞した「わが星」の動画を観て、人の一生の尊さとはかなさ、そして途方もない時の流れの中で確実に一つ一つの命が星のようにまたたいて、つながっている・・・そんな壮大な演劇表現に圧倒されました。

そして2024年。今年は目の前の生徒たちのなにげない一日に目を向け、生徒たちが実際に日常で話した言葉を集め、つながるところから創作をはじめました。彼らのなんでもない、あたりまえの「イマ、ココ」をつないだらいつの間にか一つの作品になっていた。そんな感じです。

あたりまえの一日がみんなにあたりまえにあってほしいという願い。初めて宮沢賢治作品とは離れましたが、私の中では宮沢賢治の言う「ほんとうの幸い」にしっかりつながっています。

この作品が皆様、一人一人の大切な「イマ、ココ」とつながることができたら幸いです。

脚本・演出 山田勇氣

【新篠津高等養護学校演劇部後援会各種SNS】

Instagram

X

Facebook



札幌市教育文化会館 札幌市中央区北1条西13丁目

☎ 011-271-5821

地下鉄西11丁目駅1番出口から徒歩5分

発行 北海道新篠津高等養護学校演劇部後援会